

平成29年度

委員会 研究ならび事業報告

部・委員会名
特別活動
(委員数 8名)

委員長	高嶋 義人	(高森南小学校)
副委員長	松崎 善幸	(天龍小学校)
会計	松崎 善幸	(天龍小学校)
記録	藤木 正嗣	(千代小学校)

研究テーマ	個が生き集団が育つ学級活動のあり方 ～願いの実現に向けて、思いを伝え合い聞き合う 話し合い活動を通して～
研究内容 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ①「学び合い高め合い」が成立する教材化 <ul style="list-style-type: none"> ・事前指導における教師の指導・支援、アンケート等を利用して議題を明確にする。 ②単元デザインの創出と留意点の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・「学び合い高め合い」が成立する話し合い活動への手立て。 ・少人数での意見を全体で吟味していく話し合い活動。 ③「学び合い高め合い」の効果の検証。個の変化・集団の変化・教師の意識変化 <ul style="list-style-type: none"> ・個の変化、集団の変化、教師の意識変化の把握。 ・集団決定したことに対する自己評価をする(学習カードの工夫)。
成果と課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・「教材化」については、「事前準備・願いの共有」「必要感のある話し合い」「話し合いのための話し合い・ルール決め」等により、『教師の出』を少なくし、子どもたちに、『自分たちで決めた』という実感をもたせることができた。 ・「単元デザイン」については、学級目標をキーワードに自分たちの身近な議題を話し合い、そこで決めだした活動を実践してきた。「みんなが意見を言えるようになってきた」「クラスの意見としてまとまっているので取り組みの様子が変わってきた」という生徒の声があり、学び合い高め合いへつながったと思われる。 ・「効果の検証」については、教師の意識変化により教師と子どもたちの願いが近づき、学級としての学び合い高め合いにつながる事ができた。 ・「共通の願い」を導き出し、その上で「自分たちで決めた」ことを実感し、その活動を実践できる単元デザインの具体を追究していきたい。
公開授業	<ul style="list-style-type: none"> ①5月31日(水) 飯田市立緑ヶ丘中学校3年2組 授業者:中島信一良 教諭 題材(議題)名 「有終の美『高校受験全員合格』に向けて、私たちが行っていく具体的な活動をきめよう。」 参観者9名(内委員8名)+緑ヶ丘中学校職員(25名) ②11月8日(水) 飯田市立緑ヶ丘中学校3年2組 授業者:中島信一良 教諭 題材(議題)名 「有終の美『高校受験全員合格』に向けた活動をもう一度考えよう。」 参観者8名(内委員8名)+緑ヶ丘中学校職員(8名)
他 諸活動 研修会 講演会 冊子作成 など	<ul style="list-style-type: none"> ・8月10日(木) 高森町立高森南小学校 特別活動研究会「夏期研修会」共催 参会者9名(内委員7名)